

在京エクアドル大使館

プレス・リリース

キト、2014年4月8日

マウリス・モンテロ氏の彫刻展

エクアドル外務省とセルバンテス文化センター東京の後援・支援により、日本で初めてとなるマウリス・モンテロ氏の彫刻展が行われました。



上記プロジェクトが成功裏に終わったことは、芸術、文化や国内の価値ある物を海外に紹介し普及させることが基本理念のひとつである本国政府の対外政策にまたひとつ歴史を刻みました。

フランス系エクアドル人であるモンテロ氏の作品は、3月14日から4月3日までセルバンテス文化センターにて展示され、美大生や一般の学生、また子供たちを含む多くの人々が訪れ、アートとしての美しさや巧妙なメカニズムに富んで彫刻的に動く作品を堪能しました。

同様に、4月2日には、同センターのオーデトリウムにて、南米やエクアドルにおける造形美術の現状について、またマウリス・モンテロ氏の作品についての講演会が行われ、アーティストや美大生、美術批評家や美術専門誌関係者、外交団などが出席しました。

この講演会にパネリストとしてご参加下さった美術批評家の金沢毅先生に、エクアドルの造形美術の現状や、マウリス・モンテロ氏のこれまでの経歴や作品について詳しくご説明頂きました。

